

平成 30 年度

鹿嶋市教育行政運営方針

鹿嶋市教育委員会

平成30年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当
1 学び高め合い、 生きる力を育む 学校教育の推進	(1) 幼児教育の充実	関連: [7]教育・保育施設再編成計画の作成 ・3年保育全園実施 ・第3子以降保育料、給食費無料 ・未就園児ふれあい事業 ・教育課程の進捗確認(1回/2週)及び検証・改善(学期毎) ③「アプローチスタートカリキュラム」活用と普及の拡大 ④預かり保育(14~16時 高松17時45分)実施		鹿嶋っ 子育て成 セン・タ ー教育 指導
	① 子育て支援事業の実施			
	② 幼稚園・保育園・認定こども園連携による幼児教育の推進			
	③ 公立・私立幼保が連携した小学校教育への円滑な接続			
	④ 預かり保育の充実			
	(2) 豊かな心の育成	[1]オリンピック教育の推進 (2)①③④(6)① 6(1)①③④ オリンピック・パラリンピック競技のトップアスリート(メダリスト含む)を「オリパラ校長先生」として小・中学校に派遣し、子どもたちとともに鹿嶋市におけるオリンピック競技開催の機運を高めます。 また「夢を持つことやその夢に向かって努力することの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」、「ボランティアマインド」、「障害のある人の理解」などをゲームや体験談を通じて、子どもたちに直接伝えることで、子どもたちの夢を育み、心身の健全な成長をサポートします。 ■オリパラ校長先生派遣:公立中学校5校(H30) ■オリパラ校長先生派遣:公立小学校12校(H31)	4,022	教育指導
	① 様々な体験活動を活かした学びの充実	関連: [21]フロンティアアドベンチャー事業の充実 ・宿泊共同学習の実施(小学4年生) ・「鹿嶋っ子夏フェス」(FMかしま共催)等 ・「マナーアップ運動」の実施 ・子ども会、青少年育成市民会議、ボーイスカウト・ガールスカウト等各種団体活動の奨励 ・児童生徒・保護者・教職員の人権感覚の現況把握と人権教育の推進体制の充実 ・教職員の人権教育の計画的、継続的な研修の充実 ・スポーツ大会出場報奨金(10千円/人 50千円/団体) ・鹿嶋市教育会事業報奨金(部活動全国大会、関東大会参加事業500千円/校) ・芸術文化大会出場奨励金(10千円/人 50千円/団体)		社 会 教 育 指 導 ・ ・ ス ポ ー ツ 中 心 公 民 推 進
	② 家庭・学校・地域が一体となった道徳教育の推進			
	③ 人権教育の充実			
	④ 体育・文化的課外活動等の奨励及び支援の充実			
	(3) 健やかな体の育成	[2]安全安心な給食の提供・食育活動の実践 ①③ 施設を適切に運営しながら、食で育む健康な体、豊かな心を養うことをめざし、学校での専門的指導や給食指導、学級活動の場における食育活動を推進します。また、地元生産者の協力の下、学校給食における地産地消を推進します。 ■各小中学校での栄養教諭訪問による食育及び栄養指導の実施 ■学級担任による給食の時間における食に関する指導の実施 ■地元産(しらす)使用の献立(3回/年)	356,541	給 食 セ ン タ ー
	① 食育の実施と学校給食における地産地消の更なる取り組み			
② 体力や運動能力向上を目指す学校体育活動の充実	[3]学校給食費の滞納対策 学校給食費の滞納額の縮減対策を図る。 ■滞納整理実施(1回/月) ■不納欠損事務手続きへ向けた例規整備 ■滞納額を増加させないための徴収手法の調査・研究	3,533	鹿嶋っ 子育 成	
③ 健康教育の推進				

平成30年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当		
1 学び高め合い、 生きる力を育む 学校教育の推進	(4) 確かな学力の保障	[4]生きる力の育成を通じた学力向上のための授業改善 ① 2(4)①② 平成32年度から小学校・中学校と順次実施される新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。 鹿嶋市はこのこと先駆け、平成26年度より元文部科学省教科調査官を講師として、市内小中学校全校でアクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善に取り組んでいます。平成30年度も継続して授業改善プロジェクトに取り組み、更なる教職員の資質向上と児童生徒の学力向上を目指します。 ■鹿嶋市授業改善プロジェクト(5回) ■新学習指導要領(プログラミング教育)研修(10回) ■全国学力・学習状況調査(国語A・B, 算数数学A・B, 理科) : 全国平均・県平均超目標とします。 ②③関連: 2(1)⑦	51,740	教育指導		
	① 鹿嶋市授業改善プロジェクトによる授業の推進					
	② 小学校高学年における専門性を生かした学習指導の充実					
	③ 少人数教育によるきめ細かな指導の推進					
	④ 学力調査の結果分析と活用					
	⑤ 小中学校での英語教育の充実	[5]新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践 ⑤(7)②③ 英語教育の更なる推進を図るため、小・中9年間というスパンを見通した上で、発達段階に応じた系統的な教育を推進していきます。小学校では平成30年度から国に先駆け、英語教科化先行実施(小学校5学年・6学年)に取り組み、授業実施時間をこれまでの年間35時間から年間70時間とします。 中学校においては4つの技能「聞く・読む・話す・書く」の充実に努めるほか、小学校で培った英語によるコミュニケーション能力を、さらに発展させるため、オールイングリッシュによるコミュニケーション英語を取り入れた授業を公立中学校の全てで展開します。 ■幼保小中10年間を見通した英語教育体系の構築 ■小学校英語教科化先行実施(小学校5学年・6学年) ■モジュール学習の導入(週2コマ×15分) ■英検3級レベル以上の割合(中学校3年生)40%以上 ■小学校英語活動意識調査(肯定的回答)85%以上 ■ALTの定期的な幼児施設訪問 ■イングリッシュサポーター(英語専科教員)4名配置 ■英語力向上スーパーバイザー(指導主事的ALT)1名配置 ■教職員研修(英語版授業改善プロジェクトの推進)	160,225	教育指導		
	(5) 時代の要請に応える教育の推進					
	① ICT機器を活用した情報教育の充実					
	② コミュニケーション能力の育成					
	③ 主権者教育, 消費者教育, 環境教育, 男女平等教育等の充実					
	④ 自助・共助の防災意識を高める防災教育と安全教育の推進					
	(6) キャリア教育の推進				・学校における防災教育(防災訓練)及び関係者研修会の実施 ・地区防災訓練への参加 関連: [9]小中一貫教育の導入の推進 ・学校における計画的キャリア教育の実施 ・課外活動(青少年科学の祭典への出展等)への参加 ・職場体験, 職場見学の実施 ・各種地域活動への参加	鹿嶋っ子・教育指導・社会教育
	① 小中連携による9年間を見通した組織的系統的なキャリア教育の推進					
② 職場見学・職場体験活動を通じた郷土資源の再発見	関連: [22]鹿島神宮境内附郡家跡保存活用計画策定 ・文化財愛護かるた大会の実施(文化財愛護協会主催) ・歴史探検隊の実施(文化スポーツ振興事業団主催) ・イングリッシュラウンジ, 鹿嶋学園留学生英語交流授業等 ・日本語スピーチコンテストにおける生徒審査委員 ・プリティッシュヒルズでの英語研修(中学3年生40名) ・姉妹都市韓国西帰浦市中学生とのホームステイによる相互交流(中学2年生18名)					
(7) 郷土理解教育と国際理解教育の推進						
① 郷土理解教育の推進						
② 国際理解教育の推進						
③ 地域間・国際交流事業の実施						

平成30年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当	
2 豊かな学びを支える 教育環境づくり	(1) 安心・安全・快適に学べる教育環境の整備	① 社会教育施設等の適正な維持管理 ・鉢形公民館のエアコン改修, 平井公民館のトイレ洋式化工事 ・市民センター及びはまなす公民館屋根外壁改修工事の設計 ・中央図書館外壁補修		教育総務	
	① 公民館, 図書館等の社会教育施設の改修・整備	[6]教育施設の整備 ② 安全, 安心, 快適な教育施設をめざし「学校施設等改修計画」に基づき計画的に大規模改造工事(老朽改修工事・エアコンの設置等)を推進します。 ■小学校エアコン整備: 鹿島・鉢形小学校を除く市内10小学校の普通教室等(143室) ■中学校エアコン整備実施設計: 29年度に整備した鹿野中及び32年度大規模改造工事を予定する鹿島中を除く市内3中学校(高松・平井・大野中学校)の普通教室等(41室分) ■小中学校防火シャッター改修 ・小中学校の机・椅子の計画的な入替え: 小学校3,4年・中学校2年生) ③ 安定的な給食の提供, 調理環境の改善にも努めるとともに大野中学校給食調理施設の改修計画を策定します。 ・コンテナプール室及び洗浄室の空調設備改修 関連: [1]教育・保育施設再編制の検討 ⑤ 老朽化した大野地区の4小学校及び1中学校の学校プールの集約化並びに一般利用に供する温水プールの整備により施設の効率化並びに市民福祉の向上を図ります。平成29年度に工事着工し, 31年4月オープン予定として工事を進め, 駐車場用地を併せて確保します。また施設の利用計画において, 大野地区の5つの学校プール授業を優先し, 施設の空き状況により一般利用に供するものとします。 ■屋内温水プール(25m×7コース, 採暖室, シャワー室, 更衣室, 多目的室(トレーニング室), 談話室等)の整備 ■駐車場用地(1,700㎡)の買収	繰越 (802,368)	教育総務	
	② 小中学校大規模改修の計画的な実施			48,870	
	③ 安定的な学校給食の提供と給食センター機能の充実				
	④ 鹿嶋市教育・保育施設設備整備方針に基づく幼児教育施設の整備				
	⑤ 学校体育で利用可能な温水プールの新設				
	⑥ いじめ対策の拡充と相談機能の充実				
	⑦ 市採用教職員等の適正配置				
	⑧ 鹿嶋市教育会が実施する児童生徒対象事業への財政的支援				
	⑨ 情報機器活用場所拡大のための環境整備				
(2) 一人ひとりの特性に目をむけた特別支援教育の充実	④ 施設の老朽化が進んだ幼稚園・保育施設について, 今後の園児数等から幼児教育施設の需要を予測し適正な施設整備と配置を関係部署と協議しながら計画を策定します。 ■施設再編制(三笠, 波野幼稚園, 総合幼稚園(子ども園))の整備計画(案)の作成			—	鹿嶋っ子
① 特別支援教育の推進のための指導・支援体制の充実	⑥ 「いじめ問題対策委員会」「いじめ問題等連絡協議会」の適時開催 ⑦ 市採用職員(9名), AT(31名), TT(13名)専科担当講師(11名)の適切な配置 ⑧ 鹿嶋市教育会事業補助金(○教員研修, 体育・文化活動支援 ○校外学習: キャンプ, 修学旅行等1千円/小6年生 1.5千円/中1年生) ○部活動全国大会及び関東大会参加事業500千円/校)			教育・総務 教育・指鹿嶋っ	
② 特別支援教育に関する教職員の専門性の向上	[8]就学相談の充実・特別支援教育の推進 ①③ 特別な支援を必要とする子どもたちの障がいの状態や発達段階, 特性などに応じて, よりよい環境を整え, その可能性を最大限に伸ばすため, 適切な支援体制を整えることが必要です。 鹿嶋市では教育センターに常駐する就学相談員が, 市内公立・私立全園の年中児からを対象に巡回相談を実施し, 「個別的教育支援計画ファイル」を活用しながら, 小学校から中学校, さらに高校以降もつなぐ教育相談体制の充実を図ります。 ■就学相談員3名配置(平成30年度1名増員) ■就学相談・訪問教育相談の実施(公立・民間すべての幼稚園, 保育園・認定こども園) ■個別的教育支援計画・個別の指導計画作成率100% ■特別支援コーディネーター研修会の開催				
③ 連続性のある多様な学びの場と支援の充実					
④ 障がい児保育の実施			7,477	教育指導・教育センター	

平成30年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当
2 豊かな学びを支える教育環境づくり	(3) 地域の実情に配慮した特色ある学校づくりの推進			
	① 特色ある学校教育の推進	[9]小中一貫教育の検証と推進 ①② 小学校から中学校へのスムーズな移行及び9年間の連続した学びの中で「確かな学力」と「豊かな人間性」が育まれることを目的として小中一貫教育を推進します。30年度は、高松小中を検証するとともに新規設置校について検討します。 ■高松小中一貫校の検証(推進委員会) ■新規設置校の検討(推進委員会)	177	鹿嶋っ子
	② 小中一貫教育の推進			
	③ 通学区検討委員会による通学区の検討	[10]通学区再編制 ③ 平成27年度から「小中学校通学区再編制検討委員会」において市内小中学校の通学区の見直しを検討し、29年度に新通学区の素案がまとまりました。30年度は、新通学区(案)に対する意見を集約し、修正(案)を作成します。 ■市民説明会(中学校区毎)等の実施 ■新通学区(案)の作成	124	鹿嶋っ子
	④ 情報の提供や広報活動・ホームページの充実	[11]教育に関する積極的な情報発信 現在、社会教育分野に限らず、学校教育分野においても地域とともに業務を進めることが求められています。情報の共有や事業の理解が不可欠なものとなることから、積極的に関連情報を収集し、さまざまな媒体を通じてタイムリーに発信していきます。 ■「教育かしま」掲載記事の充実 ■教育委員会HPの充実(教育委員会会議録の掲載含む)	136	教育総務
	⑤ 学校評価の充実			
	⑥ 学校活動における社会人ボランティアの活用	[12]学校支援ボランティア活動の推進 地域社会全体での子育ての一施策として、平成28年度から展開する「学校支援ボランティア制度」の運用拡大を図ります。 ■学校や地域活動支援員における制度理解の促進 ■制度の周知、広報の推進 ■学校のニーズを満足させる、人材の発掘並びに養成講座の開催 ■企業、団体への登録の呼びかけの実施	600	社会教育
	(4) 教職員の資質と指導力の向上	関連：[4]生きる力の育成を通じた学力向上のための授業改善 [5]新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践 ・教員評価等に基づく指導の実施		教育指導
	① 意欲と指導力のある教職員の指導・育成	関連：2(6)③		教育センター
	② 内地留学研修や教育論文などの参加への支援	関連：2(6)④ ・勤休管理システムの導入 ④校内コンプライアンス委員会の定例開催		
	③ 教職員の負担軽減に向けた取り組みの推進			
	④ 校内コンプライアンス委員会の充実			
	(5) 読書活動の推進	[13]図書館資料整備事業 電子図書館機能を付加したハイブリッド図書館の充実に努めます。 ■計画的な資料の選定 ■電子図書館のPRと推進	11,386	中央図書館
	① 学校図書館と中央図書館の連携による読書活動の推進	[14]図書館活動事業 図書館での各種事業の充実並びに学校図書館との連携を図り、利用促進に努めます。また、特に子どもの読書活動の推進に向け、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に規定されている「鹿嶋市第二次子ども読書活動推進計画」を策定します。 ■図書館事業(各種講座、ブックトーク等)のPR ■新しい図書館事業の推進 ■司書の合同研修会の開催、資料や情報の共有 ■「鹿嶋市第二次子ども読書活動推進計画」策定に向けた調査・研究	815	中央図書館
	② 図書館基本計画等の推進			
	(6) 教育センターの機能の充実			

平成30年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当
2 豊かな学びを支える教育環境づくり	① 幼児、児童・生徒、保護者、教職員の相談・支援活動の充実	[15]長欠・不登校解消支援の充実 ② 不登校を含む長期欠席児童生徒への対策は学校教育の根幹に関わる重大な問題であり、保護者からも相談や支援体制の充実に対して要望が多く寄せられています。 鹿嶋市では教育センターに適応指導教室「ゆうゆう広場」を常設し、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を行い、学校生活への復帰を目指します。また、教育上の悩みや子育てに不安を抱えた保護者の相談に応じて、不安の解消を図り、不登校・長欠の未然防止に努めます。 ■適応指導教室相談員5名配置 ■教育指導員5名配置 ■不登校等対策連絡協議会の適時開催 ■長欠児童生徒：小学生1%以下・中学生5%以下 ■県費スクールカウンセラー、緊急スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等配置事業の活用	24,390	教育指導 教育センター
	② 不登校、長欠対策の支援			
	③ 教職員研修・研究の充実			
	④ 教育指導員・各相談員による効果的な学校支援体制の確立			
	⑤ 教育情報の発信と教育関係資料の収集			
3 子育てのための家庭教育への支援	(1) 家庭教育に関する学習機会の充実	[16]家庭教育力の向上 ①②②①② 従来の家庭教育事業を継続するとともに、平成29年度から開始した訪問型家庭教育支援等の家庭教育支援体制を構築し、家庭や子どもを地域で支える取り組みを幅広く推進します。 ■子育て講演会 小中学校の就学時健診時に保護者を対象 ■家庭教育を考える集い PTA、学校、青少年育成団体、まちづくり委員等を対象 ■メディア講習会 中学校入学予定保護者等を対象 ■訪問型家庭教育支援 地域の子育て経験者等(元幼稚園教諭、民生委員、元家庭相談員等)で家庭教育支援チームを組織し、必要に応じて家庭を訪問し、個別の相談に応じたり、情報提供を行う。 ■放課後子ども教室 市内10小学校(小学1～3年生を対象) ■休日子ども教室 小学1～6年生を対象。市内10地区公民館およびミニ博物館ココシカ ※ココシカ土曜塾は小学4～6年生対象 ■放課後児童クラブ 小学校1～6年生を対象。市内全12小学校で開設	1,407	社会教育
	① 家庭・学校・地域が連携した子育て支援ネットワークづくりの推進			
	② 親のための学習活動支援の充実			
	(2) 家庭教育、子育てに関する相談機能の充実			
	① 療育会議の実施と相談支援担当者の情報の共有化及び継続支援			
② 保健センター、児童福祉部門と連携した教育相談機能の充実				
地4 域様の々教な育学びのを通した地域づくりと	(1) 社会教育の充実と多様で主体的な生涯学習活動の推進	関連：[12]学校支援ボランティア活動の推進 [16]家庭教育力の向上 [17]生涯学習活動の充実 ①②③「かしま灘楽習塾」を中央公民館だけでなく、地区公民館において活動することにより、全市的に生涯学習機会の拡充を図り、併せて塾の発展を支援する。 ■「かしま灘楽習塾」の地区公民館展開の調整 ■「かしま灘楽習塾」指導者育成のしくみづくり ・出前講座(市各担当部署による56メニュー)の設置 ・文化協会、市民会議、子ども会、PTA等の支援	-	社会教育
	① 学習に取り組める場と学習機会の充実			
	② 能力や経験が生かされる仕組みづくり			
③ 社会教育関係団体への支援				

平成30年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (重点施策)	予算額 (千円)	担当
4 様々な学びを通じた地域づくりと地域の教育力の向上	(2) 学校・公民館を核とした地域コミュニティの形成	[18]地区公民館活動の充実 ①③④ 魅力ある地域づくりを目指して、市民の主体的な地域づくり活動を推進する。 ■各地区委員会事業(公民館まつり、住民体育祭、夏まつり等)の支援 ■地域支援事業の実践 ■地区社協との連携による事業開催	18,805	中央公民館
	① まちづくり委員会活動の支援	[19]まちづくり市民センター事業の充実 ①③④ 社会教育の機会の提供として、市民センターで実施する事業を効果的・効率的に推進する。 ■まちづくり市民大会の開催 ■てーら祭の実施 ■文化事業(市美術展覧会、芸術祭)の実施 ■まちづくり市民センター懇話会事業委託		
	② 子どもたちの居場所づくり事業の実施	[20]まちづくり連絡協議会活動の充実 ①③④ まちづくりに関する研修会等を通し、地域課題の把握等、委員会活動の向上発展に寄与する。 ■まちづくり研修会・交流会の開催 ■まちづくり講座の開催(3回) ■センター長会議・地域活動支援員会議、主事研修会の開催(9回) ■オリンピック気運向上事業及び展示ブースの設置		
	③ 子どもや若者の地域参加の促進	(2)②児童クラブ及び子ども教室の運営 ・市美術展覧会の開催 ・市芸術祭の開催 ・市文化フェスティバルの開催 ・地区公民館まつり、まちづくり市民センターまつりの開催 関連：[17]生涯学習活動の充実		
	④ 公民館まつり等の実施	[21]フロンティアアドベンチャー事業の充実 ①② 集団生活の中で体験活動を通して生きる力、忍耐力、自立心、協調性などを養い、青少年の心の豊かさやたくましさを育みます。 ■フロンティアアドベンチャー(10泊11日 小学5・6年生70名対象)の開催 ■教職員参加対象を新採1年目から2年目以降に変更 ■ボランティアリーダーの育成	2,600	社会教育
	(3) 生きがいづくりにつながる文化的活動の促進	・心とからだの講演会 中学生対象(1回) ・青少年相談員(50名)による街頭指導等(あいさつ声かけ8回 巡回活動7回ほか) ・メディア教育講演会 中学入学予定者保護者(1回)		
	① 芸術祭・市美術展等の発表の場の拡充			中央社会教育館
	② 生涯学習活動団体の支援・育成			
	(4) 市民ぐるみで行う青少年健全育成の推進			
	① 子どもの学びを地域で支える仕組みづくり			
	② フロンティア・アドベンチャーなどの青少年の交流と活動の促進			
	③ 青少年相談員活動の充実			
④ メディアリテラシー教育の推進・情報モラルの向上				

平成30年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当
5 伝統文化・芸術の振興	(1) 豊かな感性を育む芸術文化に親しむ機会の提供	関連：4(3) ・第4回鹿嶋市第九交響曲コンサートの開催 ・文化フェスティバル 2月下旬～2週間(文化連盟10団体) ・地区公民館のまつり開催時等における作品展示		社会教育
	① 勤労文化会館等を活用した事業の充実			
	② 学校、施設等の様々な場所で芸術に親しむ機会の提供			
	(2) 歴史、文化遺産(有形・無形)の保存・保全と継承	[22]鹿島神宮境内附郡家跡保存活用計画策定 ①② H26年度に基本構想を策定し、平成28年度には測量を実施し、併せて3年を目安として、文化庁等関係機関と調整しながら、保存活用計画を策定します。 ■史跡等保存活用計画の策定 ■史跡検討委員会(3回/年) ・公有地の維持管理 ・ミニ博物館(ココシカ)の運営委託	3,986	社会教育
	① 国・市指定の史跡の整備			
	② 歴史資料の収集と地域資源の保存と活用			
	③ 伝統文化の保護と継承	・祭頭囃保存会等の支援 ・指定文化財への補助		社会教育
	(3) 郷土に誇りをもてる学びの推進	関連：[22]鹿島神宮境内附郡家跡保存活用計画策定 ・子ども歴史探検隊事業の実施 ・各公民館における史跡、名所めぐり等の実施 ・「とどきセンター」「ココシカ」「はまなす郷土資料館」の充実 ・鹿島神宮境内附郡家跡史跡の見学路等の整備		中央公民館
	① 郷土の自然や歴史にふれる機会の充実			
	② 郷土の歴史を学び親しめる施設の整備			
6 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	(1) 幅広い年代が楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進	[23]地域資源を生かしたスポーツ交流の推進 ①②④(2)①② スポーツコンベンションの推進をめざしDMOと協力しながら観光・地域資源を活用した事業を展開します。鹿嶋市のシンボルスポーツ(サッカー・武道)を中心としたスポーツ大会の開催、鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略における「海岸利活用」「ビーチスポーツ促進事業」を推進し、地域活性化と交流人口の拡充を図ります。 ■「鹿嶋サッカフェスティバル」、「塚原ト伝杯武道大会(柔道の部、剣道の部)」、「アトラズカップ かしまびっサッカ大会」、「駅伝大会」、「IYU ヨイスル・イン鹿嶋」等の開催 ■「かしま SPORTS NAVI」の運用	23,744	スポーツ推進
	① スポーツ事業の開催と機会提供			
	② スポーツ情報の発信			
	③ 障がい者スポーツの推進	[24]市民スポーツ活動の推進 ①③(2)①② 市民が気軽にスポーツ活動に取り組むことが出来る体制づくりと各種スポーツ教室・大会などを実施する。30年度は特に高齢者の健康づくりに視点をいた取り組みを進めます。 ■スポーツカレッジ(指導者養成講座)の開催 ■スポーツ推進委員、体協、スポーツクラブによる各公民館単位の健康づくり事業及び高齢者対象事業並びに各種イベントの実施 ■大野区域屋内温水プール管理運営方法の策定		
	④ スポーツによる国際交流の推進			
	(2) スポーツ団体の育成支援と指導者の育成	[25]いきいき茨城ゆめ国体の開催準備とリハーサル大会の開催 (1)① 平成31年開催の第74回国民体育大会/鹿嶋市でのサッカー競技(成年・少年)実施に向けた準備を進めます。今年10月に川州大会として「第54回全国社会人サッカー選手権大会」を各専門委員会及び関係機関等との協議・連携を図りながら、ひたちなか市と共催で開催します。また、KASHIMAキッズ対応隊による各種イベント等でのPRや市内小中学校等と連携事業により機運醸成を図ります。 ■実行委員会、専門委員会「総務・企画」、「競技・施設」、「宿泊・交通・衛生・警備」の開催 ■第54回全国社会人サッカー選手権大会(10/20～24)の開催 ■小中学校連携事業「D'アソシエーション」外会議及び事業の実施	55,829	国体推進室
	① スポーツ団体の育成支援			
	② スポーツ指導者の育成と確保			

平成30年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

第Ⅱ期 鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策・具体的事業)		教育行政運営方針 (■重点施策)	予算額 (千円)	担当																
	(3) スポーツ環境の整備・充実	<p>[26]いきいき茨城ゆめ国体の推進</p> <p>① 国体開催に対応した施設整備として、28年度に「北海浜多目的球技場」を、29年度には「ト伝の郷運動公園多目的球技場」を整備しました。30年度は、29年度から着工している「高松緑地多目的球技場」の工事を完了させるとともに同所へのクラブハウスの整備並びに敷地内の体育館の解体撤去を行います。さらにト伝の郷運動公園多目的球技場の付帯施設である管理棟等を改修します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高松緑地多目的球技場：公認人工芝（サッカー競技場1面）、スタンド120席 ■高松緑地多目的球技場クラブハウス：トイレ（男・女・多目的）、事務室、会議室、更衣室他 ■ト伝の郷多目的球技場：管理棟修繕、トイレ洋式化7基 <p>・高松緑地体育館解体撤去</p>	緑越 (147,832)	教育総務																
	① 広域的な大会に対応できる施設整備		277,060																	
7 教育における 今日の課題への 対応	(1) 教育と福祉が連携した子どもたちへの支援	<p>関連：2(6) 3(2)</p> <p>[16]家庭教育力の向上</p>		育セ教 ン育つ 教タ育 指 導 務 社・ 会 教 育																
	① 子どもや家庭に対する早期からの相談支援体制の充実	①訪問型家庭教育支援事業の展開 ③福祉担当部署と連携した「ケース会議」の開催																		
	② 学びを支える経済的支援の充実																			
	③ 不適切な養育から子どもを守る取り組みの充実・強化																			
	(2) 主権者教育、消費者教育の推進																			
① 主体的に政治的参加意識を高める主権者教育の実践																				
② 消費者としての自立を促す消費者教育の推進																				
		<p>[27]奨学金制度の充実</p> <p>② 平成8年度より高塚奨学基金を財源に年30人、貸付額及び返還額3千万円/年程度の奨学金の貸与事業〔15～30千円/月（高校、高専、大学、短大、専修学校）償還期限10年以内〕を行っています。就職難等により卒業後に返還できる収入を確保できない人の増加や貸与額が他の制度と比べて低いこと等の問題が提起されています。貸与額の見直しや返還期間の見直し、給付型奨学金、修学ローンへの利子補給制度など新しい制度を調査研究するとともに、個別訪問等を含めた滞納対策を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■奨学金制度改革へ向けた検討（情報収集並びにシミュレーション） ■滞納の解消（TEL、通知及び訪問による督促） <table border="0"> <tr> <td>（新規貸与人数）</td> <td>21人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>（貸与中人数）</td> <td>83人</td> <td>貸与総額</td> <td>176,471千円</td> </tr> <tr> <td>（返還中人数）</td> <td>189人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>（滞納人数）</td> <td>16人</td> <td>滞納総額</td> <td>4,531千円</td> </tr> </table> <p>（平成30年3月31日現在）</p>	（新規貸与人数）	21人			（貸与中人数）	83人	貸与総額	176,471千円	（返還中人数）	189人			（滞納人数）	16人	滞納総額	4,531千円	870	教育総務
（新規貸与人数）	21人																			
（貸与中人数）	83人	貸与総額	176,471千円																	
（返還中人数）	189人																			
（滞納人数）	16人	滞納総額	4,531千円																	
		<p>[28]「鹿嶋市教育大綱」及び「第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画」並びに「鹿嶋市教育行政運営方針」の進行管理</p> <p>平成28年3月に「鹿嶋市教育大綱」および「第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画」を策定しました。「鹿嶋市教育大綱」は鹿嶋市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策・方針をまとめたものであり、教育振興基本計画は大綱を踏まえ、平成37年度までの10年間に取組む鹿嶋市の具体的教育施策を示しています。さらに、「教育振興基本計画」の年度計画を「鹿嶋市教育行政運営方針」として取りまとめ、目標や施策を明確化し、計画的に事業を推進します。なお、事業の進捗状況について大学教授を含めた有識者等で構成する外部評価委員会による「教育行政評価」を行い事業を検証します。併せて、市長と教育委員会（教育長と教育委員）による総合教育会議を定期的で開催し、鹿嶋市の教育行政の方向性について共通理解を深めてまいります。</p> <p>※教育大綱…「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第1項の規定により首長が教育委員会と協議のうえ定めることとされた、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱</p> <p>※教育振興基本計画…教育基本法第17条第2項において、国が定める教育振興基本計画を参酌し、地域の実情に応じ、地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を策定について努力義務が規定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■教育行政運営方針の策定 ■教育行政評価の実施 	124	教育総務																

<参考資料>

1 鹿嶋市教育委員会委員名簿（平成30年4月1日現在）

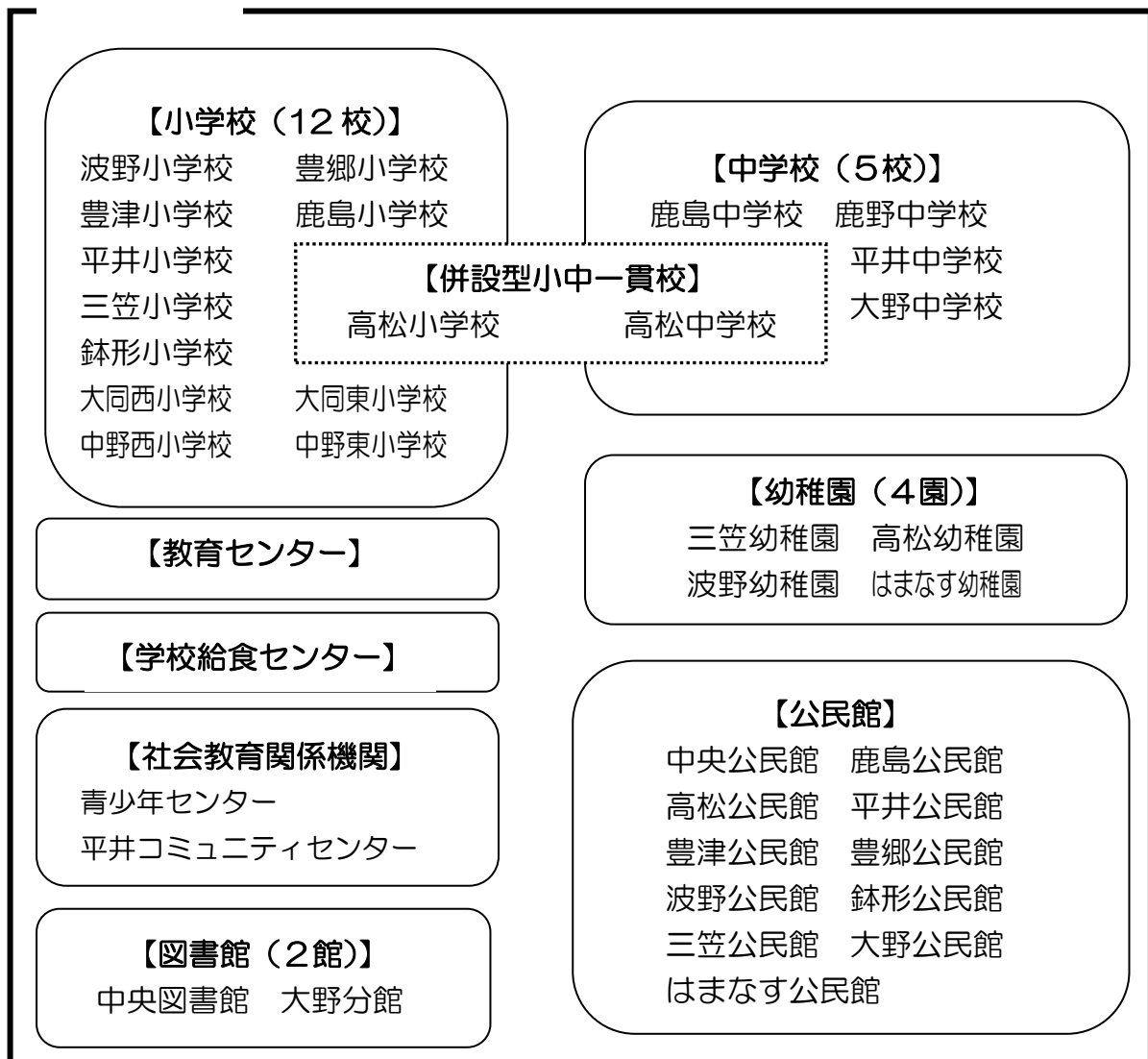
教育長	川村 等
委員（教育長職務代理者）	小澤 和夫
委員	信樂 愨
委員	岡見 文彦
委員	原 キミ
委員	大崎 千帆

2 鹿嶋市教育委員会行政組織

【教育委員会事務局】

教育総務課	鹿嶋っ子育成課	教育指導課
社会教育課	スポーツ推進課(国体推進室)	

【教育機関】



3 鹿嶋市の教育行政の経緯

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> • 社会教育やスポーツ振興などの生涯学習部門を補助執行するため、市長部局に市民協働部を新設 • 鹿島小学校で独自のカリキュラムによる英語活動が始まる
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> • 平成16年度を初年度とした10年間を計画期間とした鹿嶋市教育基本計画を策定 • 三笠小学校で独自のカリキュラムによる英語活動が始まる • まちづくり市民センター及び地区まちづくりセンターを設置 • 友好都市である中国塩城市、姉妹都市である韓国西歸浦市と中学生の派遣交流を開始
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> • 読書する機会をつくるとともに関心を高めるために、鹿嶋市読書感想文・感想画コンクールを実施
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> • 学校教育法一部改正 • 全市的な英語活動を推進するため、レシピ方式による英語活動のモデル校として波野・豊津・中野東小学校を指定し、同方式を導入 • 中学生海外派遣交流事業では、中国及び韓国に、オーストラリア（カラウンドラ市）を加えた3カ国との交流を実施 • 第18回 全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006 in 鹿嶋」を開催 • 生涯学習塾「かしま灘楽習塾」が開講 • 学力向上に向けた夏季休業日の3日間短縮開始
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> • 教育行政の充実を図るために、教育委員会事務局部長に民間人を採用 • 教職員の資質向上と市民の教育に関する関心を高めるために、鹿嶋師範塾を設立し、各種講座を開設 • 小学校での英語教育の充実を図るため、鹿嶋英語教育特区の認定を受ける。併せて、レシピ方式による英語活動を鹿島・三笠小学校以外の小学校に導入 • 中学校英語教諭の海外派遣研修を実施 • 学校図書館の充実を図るために、専任の学校図書館司書を波野小学校に配置 • 幼稚園6園、大野中学校を除く小中学校16校に給食を供給する新学校給食センターが稼働 • 学校教育課を鹿嶋っ子育成課へ名称変更

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> • 三笠小学校の余裕教室を活用した三笠まちづくりセンター（公民館）開館 • 放課後子どもプランスタート
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> • 社会教育法，図書館法一部改正 • 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正 • 個別指導の充実を図るために，小学校第1学年での少人数学級編制の実施 • 専任の学校図書館司書を，三笠小学校及び大同西小学校を加えた3校に配置 • 小学校での英語教育の充実を図るため，レシピ方式による英語活動を全小学校に導入 • 中国四川省大地震の発生によって，学校施設耐震化計画を見直し，完了年度を3年早め，平成23年度に変更 • 豊津小学校耐震化工事完了 • 第23回 国民文化祭・いばらき2008「かしま・潮騒交流文化フェスティバル」を開催 • 公民館年間延べ利用者が30万人を超える
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> • 少人数学級編制を小学校第2学年まで拡大 • 専任の学校図書館司書を，高松小学校を加えた4校に配置 • 教育基本計画を見直し，平成21年度からの5年間を計画期間とした鹿嶋市教育基本計画（後期）を策定 • 小学校での英語活動の充実を受け，中学校での英語科教育の研究を行うため，鹿野中学校をモデル校として指定し，中学校でのコミュニケーション英語のカリキュラムの検討を実施 • 市独自に小学校専科担当非常勤講師を2名配置
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> • 前年度の鹿野中学校での研究を踏まえ，中学校全校でコミュニケーション英語を取り入れた授業の展開 • 鹿島・高松・平井・中野東小学校，鹿島・鹿野中学校の6校耐震化工事完了 • 平成23年3月11日東日本大震災 • 専任の学校図書館司書を，中野東小学校及び平井小学校を加えた6校に配置

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> • 三笠小学校, 大同東小学校, 大同西小学校, 中野西小学校, 高松中学校の5校耐震化工事完了 • 東日本大震災により第二幼稚園園舎が被災したため, 第五幼稚園で合同保育,高松小学校敷地内に第二幼稚園舎を新築復旧 • 大野ふれあいセンター開館 • 小1プロブレム対策のスタートカリキュラム完成・スタート • 専任の学校図書館司書を, 中野西小学校及び鹿島小学校を加えた8校に配置
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> • 小1プロブレム対策のスタートカリキュラム改訂版作成 • 学校内研修体制の確立と指導主事による研修支援 • 小中英語連携によるコミュニケーション英語カリキュラム作成による各校完全実施 • 小学校「国算理鹿嶋市独自学力テスト」作成・実施 • 大野中学校校庭拡張工事実施 • 小学校の学力は, 平成23年度から県・国とも全国平均を越えているが学校間格差は出始めている • 鹿嶋市子ども議会開催(小学生対象) • まちづくり市民センターと大野ふれあいセンターに太陽光発電設備設置 • 学校防災推進委員会の設置, 各学校で防災訓練等の取組み開始(筑波大の協力) • 専任の学校図書館司書を, 豊津小学校及び豊郷小学校, 大同東小学校, 鉢形小学校を加えた12校全てに配置
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> • 地域における幼・小・中連携行事の推進 • 青森県五所川原市との小学5年生交流(派遣) • 中学生9泊11日のカナダ英語研修(ホームステイ) • 京都女子大教授指導の下で授業改善プロジェクトが鹿島小・大野中で開始 • 小学校にタブレットの導入(6校) • いじめ問題等対策委員会規則制定 • 英語習熟度テストの導入 • 児童生徒交友関係テスト • 幼・小・中学校に扇風機設置 • 小・中学校のトイレ洋式化 • 専任の図書館司書を中学校図書館として始めて高松中学校に配置

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> • 鹿嶋市いじめ基本方針の策定 • 平成18年度から始めた夏季休業日の3日間短縮を従来どおりに戻す。 • 通学区域再編に向けた検討準備委員会の開催 • 京都女子大教授指導の下で授業改善プロジェクト継続 • 児童生徒交友関係テスト（ハイパーQ Uテスト）の実施 • 鹿嶋市子ども議会開催（中学生） • 中学校図書館整備と図書館司書配置（平井中・鹿野中） • 青森県五所川原市との小学5年生交流（受入） • 中学生9泊11日のカナダ英語研修とホームステイ • 小学校にタブレットの導入（6校）※全小学校導入完了 • 学校給食費の改定と口座振替開始 • 平井認定子ども園の開園に伴い、平井幼稚園を閉園
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> • 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正(総合教育会議，教育長と教育委員長の統合等) • 教育総合会議の開催及び鹿嶋市教育大綱(平成28年度～平成33年度)の策定 • 第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画(平成28年度～平成37年度)策定及び公表 • 市長部局(市民協働部)にて補助執行していた社会教育やスポーツ振興などの生涯学習部門を教育委員会事務局内に戻す。 • 学校との共催によるフロンティア・アドベンチャー事業の実施 • 青森県五所川原市との小学5年生交流（派遣） • 様々な異文化，国際理解教育の推進（英語研修施設での短期集中実践研修，イングリッシュラウンジの開催，鹿島学園留学生の中学校への交流事業） • 改正前地方教育行政法に規定による教育長が辞任し，新教育委員会制度へ移行 • 放課後児童クラブ開設数21クラブ(鹿島小1増，三笠小1増，波野小1増) • 2019年茨城国体開催に向けサッカー場整備計画策定 • 高松公民館改築工事完了(鉄骨平屋建て660㎡，非常用発電機設置) • 中央図書館の環境改善工事(トイレの段差解消,乾式化及び洋式化) • 教育センターを開設し学校教育全般を支援する体制を構築する。あわせて適応指導教室を統合することにより連携のとれた各種相談事業を展開する。

<p>平成28年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 小中学校一貫教育検討委員会の開催(高松小中学校をパイロット校として平成30年4月開校に向け準備) • アプローチ・スタートカリキュラムの改訂 • 青森県五所川原市との小学5年生交流(受入) • 様々な異文化, 国際理解教育の推進(英語研修施設での短期集中実践研修, イングリッシュラウンジの開催, 鹿島学園留学生の中学校への交流事業) • 平成32年度(鹿嶋市は30年度)小学校における英語必修化に向けた学級担任主体の英語授業への展開 • 学校図書館整備事業(鹿島中, 大野中の整備 ※全校完了) • 鹿島小学校(北校舎・南校舎)及び鹿野中学校体育館の大規模改造事業 • 放課後児童クラブ開設数23クラブ(鹿島小1増, 豊郷小1増) • 学校支援ボランティア制度の事業開始 • 国指定史跡「鹿島神宮境内附郡家跡」保存活用計画の策定(3カ年) • 青少年のための科学の祭典鹿行地区大会の開催 • 企業と連携した子どもの体験型情操教育(鹿嶋っ子夏フェス) • 勤労文化会館の第2期大規模改修事業(A棟の外壁等工事) • 観光と連携し地域資源を利活用したスポーツ大会の開催(ビーチラン, ビーチサッカー大会等) • 2019年茨城国体開催に向けサッカー場の整備(北海浜多目的球技場:天然芝敷設10,350㎡ 駐車場5,276㎡)
<p>平成29年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 新学習指導要領への移行準備(小学校英語教科モジュールカリキュラムの作成, プログラミング教育に関するICT研修の実施等) • 就学前教育及び家庭教育の推進(家庭教育力向上推進協議会の開催と訪問型家庭教育支援事業の実施) • 鹿嶋市いじめ防止基本方針改定 • 国際理解教育の推進(英語実践研修, 姉妹都市交流) • 教育環境整備(鉢形小及び鹿野中校舎の改修・エアコン設置, 鹿島小普通教室等へのエアコン設置) • 小学校5・6年生, 中学校3年生の机・椅子更新 • 放課後児童クラブ開設数24クラブ(大同東小1増) • 電子図書館の開設 • 公民館における福祉分野への支援 • 各種スポーツイベントの開催(ビーチサッカー, 駅伝等) • 2019年茨城国体開催に向けた運営組織並びに会場を整備(ト伝の郷運動公園:人工芝張替え約40,000㎡, 照明, 観覧席等)

